



三好不動産
CSR
Corporate Social Responsibility
Report
2019



三好不動産



【免許・登録番号・加入団体】宅地建物取引業者免許 登録番号 国土交通大臣(2)第7912号／賃貸住宅管理業者 登録番号 国土交通大臣(2)第0000008号／第二種金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第35号／金融商品仲介業者 福岡財務支局長(金仲)第43号／(一社)九州不動産公正取引協議会 加入／(公社)福岡県宅地建物取引業協会 加入

発行人／株式会社三好不動産 代表取締役社長 三好 修 編集・制作／株式会社三好不動産 社長室 広報グループ 〒810-0054 福岡市中央区今川1-1-1 TEL:092-725-5000(広報)

三好不動産

社会に貢献する 勤勉企業で あるために

三好不動産は、経営理念に定める「社会に貢献する勤勉企業」の精神を実現していくため、経済的責任だけではなく、事業活動において社会や環境への責任を果たす努力をしてまいります。社員一人ひとりが、コンプライアンスと経営理念に沿って行動し、さまざまな活動を通じて地域に寄り添い、貢献できる企業であり続けたいと思っています。

※CSR:Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)



働きやすい 職場環境へ

職場環境づくりも社会的責任の一つであるものと考えています。従業員一人ひとりが活き活きと働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みも推進しています。



被災地支援

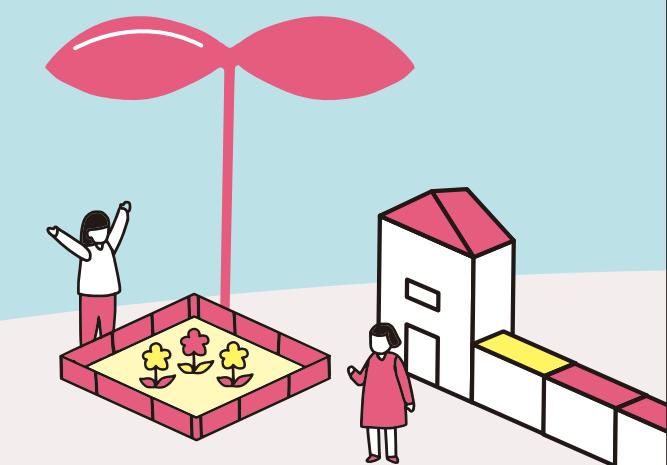
私たちが福岡からできること

大地震等の自然災害や、甚大な被害をもたらす危機があった場合において、被災地の実態に応じた支援を継続的に行ってまいります。



誰もが生活しやすい 社会環境への 取り組み

地域や社会の一員としての、少子高齢化社会への対応、障がい者雇用の促進、次世代の育成、国際社会への取り組みなど、誰もが生活しやすい社会環境作りに取り組んでまいります。



社会貢献活動

地域社会とともに

地域に根ざした社会貢献活動を通して積極的に地域との共生に努め、よりよい社会づくりに取り組んでまいります。

社会貢献活動 地域社会とともに

車いす送迎車の寄贈

この活動は、西日本新聞社が2002年から始めた「車いす送迎車を贈ろう！キャンペーン」に当社が賛同し、2004年より車いす送迎車の寄贈を行っています。これまで西日本新聞民生事業団を通じて、20台の車いす送迎車を寄贈しました。



車いす送迎車の前にて



寄贈式の様子（2017年）

福岡市動物園の動物サポーターとして支援

2014年7月より、福岡市動物園の動物サポーターとして支援を行っています。福岡市に住む子どもたちに人気のスポットである福岡市動物園の支援を通じて、動物に親しむ場として身近に感じていただくためのお手伝いを長期に渡って応援してまいります。



動物のエサ代50万円を寄贈



園内のテントを寄贈



はな子の運動場の土を耕す耕うん機を寄贈



特製の「ごはん箱」を寄贈

当社ロゴのゾウマークのご縁もあり、一番の人気者だったはな子（アジアゾウ）を応援してまいりました。そのはな子が、2017年9月に天国へ旅立ちました。はな子の愛くるしい姿は、温かな思い出として私たちの心の中にずっと残っていくことでしょう。「はな子 ありがとう」

CMCボップイ三好小学校を建立 (カンボジアバッタンバン州)

2017年11月、当社とグループ会社のニッポンインシュア(株)は「一般社団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)」主導のもと、カンボジアバッタンバン州の郊外ボップイ村に、「CMCボップイ三好小学校」を建設しました。これは、三好不動産グループが、約10年前から協力している「カンボジア地雷撤去キャンペーン」の一環で、地雷原跡地の老朽化した小学校の建て替え事業に全面協力したものです。



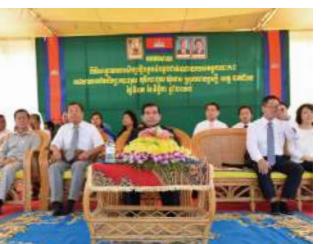
「MIYOSHI」とネームの入った制服



CMCボップイ三好小学校



お礼の唄を披露する児童たち



中央は州副知事

2017年11月3日竣工記念式典が行われました

竣工記念式典に関係者らが出席、盛大な歓迎を受けました。式典には、州の副知事や、教育長、地元公職の来賓も多数参加、副知事より当社代表をはじめ労働者に対し「国家建設功労第一勲章」の授与がありました。



国公立大受験生へ九州大学前学生寮の貸室を無償宿泊提供

2017年2月25、26日、国公立大学前期試験が行われたこの日、福岡市内で開催された大きなコンサートや、国家試験日と重なり市内を中心に宿泊施設が確保できない受験生が続出しているという報道がありました。当社はこの状況を知り、受験生とその保護者に限定し、当社所有・運営をしている学生マンション「九州大学前学生寮」の貸室24室を無償提供させていただきました。ホテルのようにとまではいかないものの、受験生の皆さんにこれまで頑張ってきたことを発揮して頂きたいという想いで、可能な限り支援させていただきました。

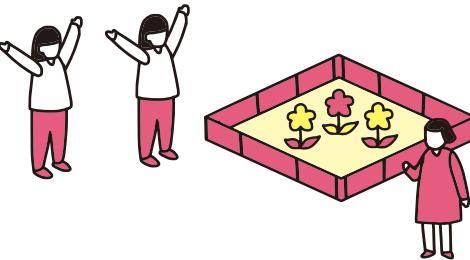
※2018年も同様に貸し室10室を支援させていただきました。

入寮生である現役の九大生たちは、普段、食堂など共用スペースでは会話も多く賑やかな雰囲気ですが、試験日前日から当日は誰からともなく気を配り、仲間で集まるのは控えたそうです。このように現役九大生の先輩たちも、自身の受験の時を思い出して、そっと見守ることでバックアップしてくれていました。



九州大学前学生寮

社会貢献活動 地域社会とともに



子ども食堂「サンsun♪」を開設 (熊本県合志市)

熊本県合志市で介護事業を展開しているグループ会社の(株)サンコーライフサポートは、同社が運営するサービス付き高齢者向け住宅「スリースマイル秋桜」(熊本県合志市)内に、2017年4月より子ども食堂「サンsun♪」を開設しました。地域の子どもたちに、バランスのとれた食事を提供するのはもちろん、スリースマイル秋桜の入居者の方やデイサービスの利用者など、普段ふれあう機会の少ない多世代の方々との交流の場も提供しています。加えて、地域の人たちのコミュニティスペースとしての役割も果たしています。

子どもたちには、入居者の食事配膳の手伝い、専用畑で食材に使っている野菜収穫やリハビリの手伝いなど、職場体験を通して働くことで「人の役に立つことの大切さ」、「食事をいただけることの喜び」を感じてもらえればと思います。また、親御様には、時には家事の手を休めて欲しいという想いもあり、親子連れやお友達同士で気軽に利用できる食堂として、地域の皆様の「居場所」になることをを目指していきます。



子ども食堂とは

近年、共働きやひとり親の家庭が増え、一人で食事をしている子どもや、少ない食費でファーストフードやお菓子などを食事にする貧困の子どもの増加が問題になっています。一般的に「子ども食堂」は、そのような状況下にある子どもや親を助けたいとの思いで始まったと言われています。こうした問題の解決、そして地域社会を構築する一つの手段として、全国的に広がっている取り組みです。



地域花火大会翌日の清掃活動

毎年地域の花火大会翌日の清掃活動に参加しています。(西日本大濠花火大会、周船寺花火大会、東区花火大会など)



本社周辺の花壇の植え替え・清掃活動

当社本社がある唐人町の花壇の植え替えと手入れ、及び清掃活動を定期的に行ってています。



地元当仁校区の 夏祭りや餅つき大会の参加

地域で行われる様々な行事に積極的に参加しています。お祭りや餅つき大会等、地域の皆さんと親睦を深めながら取り組んでいます。



AEDの設置

AED(自動体外式除細動器)を設置し、社員やお客様の万が一に備えています。また、福岡市のAEDマップを開示し、近隣の皆さんにも情報を公開しています。



献血協力

病気やケガ等で、血液を必要とする多くの方々を支援するため、献血に協力しています。毎年、多くの社員が協力しています。

「こども＆レディス110番の店」活動

犯罪に遭遇したこどもや女性が逃げ込める「こども＆レディス110番の店」活動に、スマイルプラザの各店舗が協力しています。



安心・安全なまちづくりのための 防犯パトロール

「中央区犯罪の起きにくい街づくり総合対策(NCC (No!Crime in Chuo))」に参加、地区・福岡県警と連携し防犯パトロールや犯罪インフラ確認などを行っています。また「福岡中部法人会」に参加、大濠支部として防犯パトロール活動等を行っています。



赤い羽根共同募金

社会福祉法人福岡県共同募金会を通じて、毎年寄付をお送りしています。



福岡市より「地域のまち・絆づくり応援企業」として表彰されました

2016年に福岡市より「地域のまち・絆づくり応援企業」として表彰されました。これは、福岡市内の自治協議会の推薦によるもので、当社が取り組む以下の地域活動です。これは毎年取り組んでいるものです。

- 当社ソフトボールチームによる当仁校区地域リーグ出場、当仁校区夏祭りの運営、当仁校区餅つき大会の運営
- 地域小・中学校のトイレ清掃貢献
- 西日本大濠花火大会翌朝の清掃活動

社会貢献活動 地域社会とともに



三好不動産の学生育英支援「ゾウさんの贈りもの」

福岡県内の大学・短大・専門学校の新入生を対象に、一人当たり月額2万円、年間24万円の支援(返済不要)。私的奨学金ともいえる当社の新しいかたちの学生支援であり、未来ある若者たちへの応援プロジェクトの一環です。



二期生授与式の様子



この1年どのような学生生活だったか、そして二期生へのなまけの言葉を述べる一期生



一期生と二期生の記念撮影

「この支援だけではなく、学生の皆さんはひとり暮らしが多いので、皆さんの住まいの近くに当社の店舗もありますし、気軽に相談にきていただける里親のような存在でありたいと思います。得意分野を生かしてより良い人生をおくっていただけるよう、頑張ってください。」と激励しました。支援する学生の皆さんとは、当社施設の開放や、当社主催のイベント等を通じて当社の社員との交流も深めていかなければと考えおり、「困った時は相談において」といった親代わりのような支援として育ててまいります。



「ゾウさんの贈りもの」 支援への想い

将来を背負ってたつ若者を支援することは、社会にとって大変重要なことだと考えています。その想いの中、当社が「できること」「やるべきこと」を模索し続け社会に還元していく所存です。当社が掲げる「若者応援プロジェクト」の一環である「ゾウさんの贈りもの」は、そういうメッセージを込めた支援として今後も続けてまいります。

マタニティマークキーホルダーをお配りしています



妊娠さんや赤ちゃんに寄り添った優しい環境づくりを応援したいという想いから、当社のロゴマークである親子をあしらったオリジナル・マタニティマークキーホルダーを作成しました。マタニティマークは、おなかの目立たない妊娠初期でも周囲の人に妊娠を知らせ、やさしい配慮を促すものとして2006年に厚生労働省が作成したものです。マタニティマークキーホルダーは、スマイルプラザ各店舗・三好不動産の各拠点でお配りしています。このマークを身につけてお母さんを見かけたら「そっとやさしい思いやり」をお願いします。

マタニティ マークとは?

妊娠初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するためにとても大切な時期です。しかし、外見からは見分けがつかないこともあるため、「電車で席に座れない」、「たばこの煙が気になる」など妊娠さんはさまざまな苦労があります。国民運動計画「健やか親子21」推進検討会において、妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保を目指し、「マタニティマーク」を発表しました。マークは、妊娠さんが交通機関等を利用する際に身につけ、周囲に妊娠であることを示しやすくするものです。また、交通機関、職場、飲食店等が、呼びかけ文を添えてポスターなどとして掲示し、妊娠さんにやさしい環境づくりを推進するものです。



(厚生労働省HPより引用)

「タオル帽子を贈ろうキャンペーン」へ支援(2018年~)

2016年より西日本新聞エリアセンター連合会が、抗がん剤治療の副作用で脱毛したがん患者を応援しようと、タオル帽子を作る個人やグループを支援する活動を始め、当社が2018年よりそれに賛同しています。第一回目となる寄贈式が3月15日に行われ目録をお贈りしました。このキャンペーンは、西日本新聞エリアセンター連合会が福岡県内のボランティア団体にタオルと助成金を支給しているもので、これまで、九州各地の約30の病院や施設に約1,200個のタオル帽子を贈っています。



タオル帽子贈呈式が行われました

2018年7月10日、タオル帽子の贈呈式が九州大学病院内で行われました。贈呈式では、製作を担当した「すみれ会」の代表者より36個のタオル帽子が九州大学病院 乳房外科の久保真医師に手渡されました。今後も当社はこの活動に積極的に取り組んでまいります。



山笠の各流れに奉納酒をお贈りしています

博多3大祭りのひとつで櫛田神社への奉納神事である「博多祇園山笠」。当社は、この伝統的な祭りに対し創立60周年記念事業のひとつとして、2010年より奉納酒を贈る活動を続けています。西、千代、恵比須、土居、大黒、東、中洲の各7つの流れと、博多祇園山笠振興会本部の8か所に持参。奉納する酒は、「益々繁盛」と呼ばれる2升5合入りの巨大な瓶で、一升瓶が2つと反升の「升升半升」(益々繁盛)と縁起を担いだお酒です。祭りが安全・盛大に行われることと、今後も末永く伝統が続いているようにとの願いを込めて奉納させていただいています。



被災地支援 私たちが福岡からできること

平成24年九州北部豪雨の復興支援

福岡県豪雨災害義援金をお送りしました。(2012年9月)

東日本大震災の復興支援

震災直後の支援物資送付

震災直後の2011年3月14日、被災地に支援物資を届けました。毛布100枚、紙おむつ約350箱、水のペットボトル600ケース等、当時現地で手に入りにくかったものを中心にお送りしました。さらに、関東在住のオーナー様にお米や乾電池、水など、不足している日用品をお送りしました。



被災地3県(福島・宮城・岩手)に義捐金を届けました

当社社長の三好修がオーナー様をはじめ、各方面でお預かりした義捐金の目録を、福島県、宮城県、岩手県を訪問し、各県の知事へお届けしました。(2011年8月)



福島県訪問

宮城県訪問

岩手県訪問

2013年より義捐金の寄附先を 「公益財団法人みちのく未来基金」へ

私たちが福岡からできることを改めて考えた時、より具体的な支援を考え、「真に復興の礎となるのはこれから育つ次世代の若者たちである」というみちのく未来基金の趣旨に賛同し、支援をしています。みちのく未来基金は、東日本大震災において被災し、両親またはどちらかの親を亡くした子どもたちの就学の夢を支援する奨学基金で、入学金・授業料を全額支援、震災時に0歳だった子どもが大学院を卒業する頃までの少なくとも25年間は基金を継続(返済は不要)するというものです。子どもたちが夢や希望を実現する為に必要な教育を受けることは復興の光となり未来につながると信じています。



みちのく未来基金事務所訪問



「第5期生のつどい」災学生と企業サポーターとの集合写真

平成28年熊本地震の復興支援

熊本県 「熊本文化財復興支援金」へ寄附

熊本地震により熊本城が大きな被害を被りました。熊本城は、築城400年余の歴史をもつ重要な文化財であり、熊本の象徴といえるものです。この貴重な文化財の復旧・復興に役立てていただきたく、寄附させていただきました。(2015年12月)



提供:熊本城総合事務所
「五階屋根の取り外し前(熊本市役所14階より2018.1.19撮影)」

被害に遭われた 被災者の方々に住居を支援

被害状況を踏まえ、熊本地震の被害に遭われた被災者の方々へ、福岡都市圏及び近郊において、当社が管理している空室物件を短期的に無償提供をする住居支援を行いました。(2016年4月)

震災直後の支援物資送付

熊本県及び、大分県に在住のオーナー様へ、ペットボトルの水や缶詰め、レトルトカレー等の食料品や、マスク、軍手、ウエットティッシュ、紙皿等の日用品をお届けしました。(2016年4月)



被災地支援 私たちが福岡からできること

西日本豪雨災害ボランティア

2018年8月、全国賃貸住宅経営者協会連合会会員の岡山県の不動産会社へ行き、みなし仮設賃貸借契約等、契約手続き事務を現地で作業を行いました。

西日本豪雨災害支援物資を発送しました

この度の西日本豪雨災害で被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申しあげます。西日本を中心に発生した大雨災害を受け、特に被害の大きかったオーナー様へわずかではありますが、飲料水や保存食などの支援物資を送らせていただきました。今後も被災された皆さまからの希望をお聞きし、現地で必要なもの等支援してまいります。被災地の皆様のご無事と一日も早い復興をお祈り申しあげます。



募金活動

スマイルプラザGOGOハイク

創立55周年記念行事の一環で始めたGOGOハイクは、2018年で13回目を迎えます。東日本大震災の年をきっかけにチャリティーとして開催、参加費の一部と募金箱に寄せていただいた義捐金とを合わせ、東日本大震災や熊本地震の復興に役立てていただこうと寄附しています。今では1,000名を超える行事にまで成長しました。



オーナーチャリティーゴルフコンペ

チャリティーゴルフコンペを開催し、参加いただいたオーナーの皆様の善意を「みちのく未来基金」へ届けています。



誰もが生活しやすい 社会環境への取り組み

少子高齢社会への対応

特定非営利活動法人 介護賃貸住宅NPOセンター

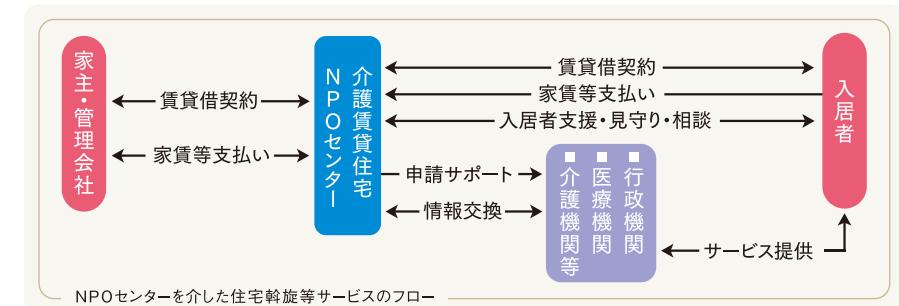
2001年2月に特定非営利活動法人(NPO法人)「介護賃貸住宅NPOセンター」を設立。保証人の問題や万が一の滞納保証等様々な条件が満たされず、部屋探しできない高齢者の方々を対象に住居の斡旋を積極的に行ってています。身寄りがない・高齢などの理由で一般の賃貸住宅などに入居できない方を対象に、空室で悩む賃貸住宅オーナーとの間にたち入居を支援しています。当センターが生活をサポートすることを条件にオーナーから部屋を提供して頂いています。



公共施設にも置かれている
パンフレット

Memo

NPOセンターでは乳製品を定期的に配達、届ける際に声掛けをし安否確認をしています。これは入居後の見守りサポートの一環です。



障がい者雇用促進・自立支援

特例子会社「ぞうさんのはな」設立

三好不動産とグループ会社の(株)サンコーライフサポートは、2013年10月、障がい者雇用を目的とする特例子会社(※)「ぞうさんのはな」を熊本県合志市に設立し、高齢者世帯等を対象にした弁当の調理・宅配事業を行っています。弁当は昼食・夕食分を届け、必ず手渡しするため「地域の見守り」としての役割も担っています。本事業は、2013年8月に「合志市まちづくり事業提案制度」の認定を受けました。



※特例子会社

「障害者の雇用の促進等に関する法律」で定められ、障がい者の雇用に特別に配慮して、企業の中に雇用率制度の特例措置として設立される子会社のことです。この子会社は一定の要件を満たしている場合、その子会社に雇用されている労働者も親会社に雇用されているものとみなされ、親会社の障がい者雇用率に算入されます。

国際社会への取り組み

カンボジア地雷撤去活動への寄付

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン主催「地雷被害者救済チャリティー野球観戦」に毎年参加、観戦チケット代金の一部を地雷撤去活動及び地雷被害者の支援に役立てていただいている。



行政の取り組みの参画

福岡県 出会い・結婚応援事業

社内に「ふくおか結婚応援センター」を設置。管理物件をお任せいただいている不動産オーナーの御親族を対象とした出会いイベントを年1回開催しています。



誰もが生活しやすい 社会環境への取り組み

次世代の育成

インターンシップの受け入れ

インターンシップの受け入れは、これから的人生設計を考える学生の方々に、就労体験の場をつくるという社会貢献活動として位置づけています。ここ数年は、外国人留学生の参加も増えています。インターンシップを受け入れることで、職場の活性化といった相乗効果もあり、新しい見識を得る機会となっています。



LGBTのお部屋探しをサポート

性的マイノリティ(性的少数者)を特別視せずに お部屋探し(賃貸借契約)ができる環境をご提供したい

部屋を借りる場合、そもそも二人入居が難しいという現状があります。それは、同性カップルも例外ではありません。一人で部屋を借りて内緒で同棲をする方もいらっしゃいますが、例えば火災などが起きた場合、きちんとした保証が受けられない等のリスクを負うケースも考えられるのです。そのようなリスクの回避もさることながら、すべてのお客様に快適な暮らしをご提供したいという思いの中、取り組みを始めました。2016年10月よりスマイルプラザ博多駅前店をLGBT対応店舗としてレインボーブルマークを掲げたり、SNS等でお部屋探しに関するQ&A等情報発信をしています。



任意団体「work with Pride」が認定するLGBTに関する企業等の取り組みの評価指標「PRIDE指標2017、2018」において、当社は最高評価である「ゴールド」を受賞しました。

企業主導型保育園

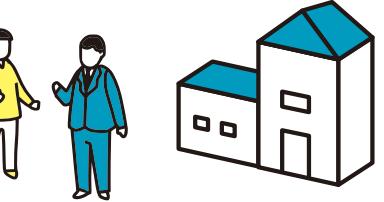
「ぞうさんのはな保育園」

当社グループ会社初となる企業主導型保育園「ぞうさんのはな保育園」を2018年9月熊本県合志市に開園しました。「働くお父さん、お母さんが安心して預けられる園」を保育理念に掲げ、最大の特徴である「幼老共生」を柱に地域の方々も利用できる「街づくりをする保育園」をめざしてまいります。



【ぞうさんのはな保育園】
熊本県合志市須屋81-5

【施設】保育室3室(0、1歳児すみれグループ/2~5歳児コスモスグループ/2~5歳児ひまわりグループ)図書室、事務室、相談室、応接室、医療室、倉庫(2室)、更衣室、厨房、病後児保育室、調乳室、沐浴室【定員】60名(企業枠31名/地域枠29名)【保育園の平米数】床面積571.69m²/建築面積575.54m²



産学連携

九州産業大学との連携

2011年より九州産業大学工学部住居インテリア設計学科の学生とリノベーションに取り組んでいます。学生が室内のデザインを手掛け、実践的な勉強の一環として無報酬で設計を担当しています。これまで10例以上を完工、若い世代の発想で部屋づくりが実現しています。



九州産業大学の学生がデザインしたリノベーション

福岡県警察と福岡県宅地建物取引業協会が締結

「DV・ストーカー被害者等への住宅情報提供に関する協定」に基づく協力業者に

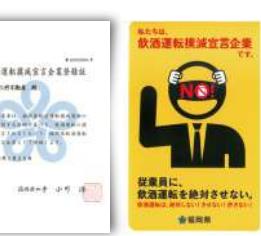
夫婦間や恋人などによるDV(ドメスティック・バイオレンス家庭内暴力)やストーカー問題は年々事態が深刻化しています。被害者は、加害者との接触を避けるためにホテルや知人宅への一時的な避難を余儀なくされています。そのような状況にいる被害者が警察に相談し、早急な避難を希望する場合、県警が同協会に空き部屋を照会、同協会は居住地や家賃など希望を聞いた上で物件情報を提示します。当社はその物件情報を同協会に提供しています。



飲酒運転撲滅

飲酒運転撲滅宣言企業

2018年1月より福岡県が掲げる「飲酒運転撲滅宣言企業」として登録。飲酒運転の撲滅を宣言し、その対策に取り組んでいます。



働きやすい 職場環境へ

一般社員対象

奨学金返還の負担軽減制度を実施

入社間もない新卒従業員が学生時代に給付を受けた貸与型奨学生の返還義務を遂行できないといった社会問題が表面化しています。当社はそうした現状を打破したいという思いと、「三好不動産の存立基盤は人財にあり」というスローガンに則り、学生時に奨学生の給付を受けていた比較的社歴が浅い社員に対し、返還の負担を軽減する制度を2017年10月より実施しています。

【制度の概要】

- 支給対象は、新卒で入社し、入社10年未満の正社員であること(入社10年になったタイミングで給付終了)
- 貸与型の奨学生であること
- 支給金額は毎月の返還額の50%で、2万円が上限

リフレッシュ休暇制度

2014年より社員の心身のリフレッシュによる活性化および家族への慰労、社員の自己啓発の場の提供を目的として、1年間で連続5日間の休暇取得をする「リフレッシュ休暇制度」を導入。この制度は特別休暇の付与であり、日常生活および勤務に活力をもって臨むことができるようになります。

※対象は正社員、準社員、嘱託社員、契約社員(有期契約社員を除く)。

企業主導型保育園との業務連携契約

お子様がいる社員の育児支援として企業主導型保育園との業務連携契約を2018年より進めています。企業主導型保育園とは、提携を結んだ企業の従業員のお子様を優先的に預けることができる保育施設です。今後は、提携が必要であると判断すれば、複数の企業主導型保育園と積極的に契約を締結していきます。

Memo

企業主導型保育園は認可外保育施設に分類されるのですが、近年、英語、絵画造形、バレエ、空手等のレッスン等の取り組みや、園庭を備えているなど認可保育園並みの保育内容を取り入れているところも増えています。

子育て応援制度

第3子出産は10万円の祝い金を支給

企業として少子化問題に取り組み、出産・育児を支援する「子育て応援制度」は正社員を対象に、第3子出産は10万円の祝い金を支給。これまでに約10名の社員へ支給されました。(2018年8月現在)